



地域通貨の導入について
(第5回 ネット公開講座)

～ 普遍価値の創造を目指して ～

平成21年4月15日



旭川・遍く・労り・慈しむ会



目 次

I	背 景	1
II	目 的	2
III	コンセプト	3
IV	期待される効果	4
V	地域通貨の発行	5
	地域通貨の形態と呼称	5
	地域通貨の流通と減価	7
VI	地域通貨の運用	9
	“もの・サービス”メニューの開示	9
	地域通貨の利用イメージ	11
	地域通貨の流通促進	15
VII	地域通貨の管理	17
	管理体制	17
	情報システムの整備	19

旭川・遍く・労り・慈しむ会



I 背景

- 今、家族の絆が薄れ、少子・高齢化に伴い、地域活力も低下の一途を辿っています。また、終身雇用を支えられた日本型雇用形態が崩れ、突然のリストラもまかり通ります。架空取引や信用不安、諸物価の乱高下などお金の脆弱さも懸念されています。
- 原因として、個人の自覚不足、会社のモラル低下、政治家の資質欠如、行政の権益優先体質に加え、経済効率、経済「合理性」という名目で行われる偽装、弱者切り捨て、血税を使った利権の構造などが指摘されています。
- これが戦後65年間に失われた“価値”の復活が求められる由縁です。地域通貨は、人・モノ・カネ・情報の真の価値を見直す機会を与え、その活用を図る仕組みを整備することで、人々の拠と地域活力の発揚の場を提供するものと考えます。

旭川・遍く・労り・慈しむ会



II 目的

- 地域通貨を導入することにより、地域で活用されていない遊休資源、ボランティア等の役務、アイデア等を発掘・活用し、地域の活性化を図ります。
- また、貨幣価値では評価が困難な価値（＝経済外価値：ありがとう、おいしい、楽しい等の評価）を相対で決定し、地域通貨がそれらの交流や取引を促進します。
- 各種市民活動の主体が会費の一部を地域通貨として還元したり、各種活動等の推進手段として活用することにより、市民活動を促進します。
- また、地域通貨の保有者（プラス保有者、マイナス保有者）は、プラス保有者は価値の引き替えのため、マイナス保有者はその解消のための利用を誘発させ、新たな価値を創出します。

旭川・遍く・労り・慈しむ会



Ⅲ コンセプト

- 貨幣価値としては費用化が困難なもの（不用品）・サービス、善意などを評価する一つ的手段として地域通貨を導入します。
- 地域通貨は、市民（会員登録が必要）同士が、市場（法定通貨）では流通しない“もの・サービス”を地域通貨評価額と併せて開示し合い、その流通を促進します。
- 市民活動グループが地域通貨の利用を図り、活動の動機付けや事業を円滑に推進するための手段として活用します。
- また、商店街などでも、観光客や地元市民を集客するための手段として地域通貨の活用を図ります。

旭川・遍く・労り・慈しむ会



Ⅳ 期待される効果

地域通貨を利用することで、次のような効果が期待されます。

- 法定通貨では評価が困難な“もの・サービス”（安全・安心、環境・美化、ボランティア・善意・親切、時間、遊休資源の提供等）を会員間で地域通貨を媒介として評価することで、それらを流通させ、新たな市場の創出と市民間の交流が深まります。
- 地域通貨は、商店街への集客、農作業支援や農産物の購入、イベント等への参加、公共施設の利用、各種の市民活動などに利用でき、工夫次第でいろいろな付加価値を生み出すことができます。
- なお、地域通貨は、保有していても価値が生じません。使い道を考案することで、新たな“もの・サービス”メニューを創出し、交流や取引の場を拡大していきます。また、会員は地域通貨の保有がゼロ（マイナス）になっても利用が可能です。マイナスは、別途、“もの・サービス”の提供で解消が図られます。

旭川・遍く・労り・慈しむ会



V 地域通貨の発行

1 地域通貨の形態と呼称 (1)

地域通貨の発行形態

形態	長 所	短 所
紙 幣	利用者の扱いが容易	流通の実態把握が困難
通 帳	流通の経路が記録に残される	記帳の煩わしさが伴う
I Cカード	地域通貨の流通管理が自動化できる	コストが多く掛かる

採用を予定している形態

採用予定	2つの形態を併用する理由	主・従関係
住民基本カード (I Cカード)	信頼性が確保され既存システムが利用可能 運用のための労力軽減	主
紙 幣	I Cカードに馴染めない人のため 観光客等利用期間が限られる人などのため 家族カード(家庭内の利用)として	従

旭川・遍く・労り・慈しむ会



V 地域通貨の発行

1 地域通貨の形態と呼称 (2)

呼称の考え方

文字数	1～5	円、ドル、フラン、ルーブル、トルコリラ
表 示	漢字、カタカナ、かな、ローマ字	円、エン、えん、Yen
→ 呼称	(公募)	日本語、アイヌ語、外国語

発行紙幣の種類とデザイン

種 類	3種類	100、500、1,000
デザイン	(公募)	

呼称の例

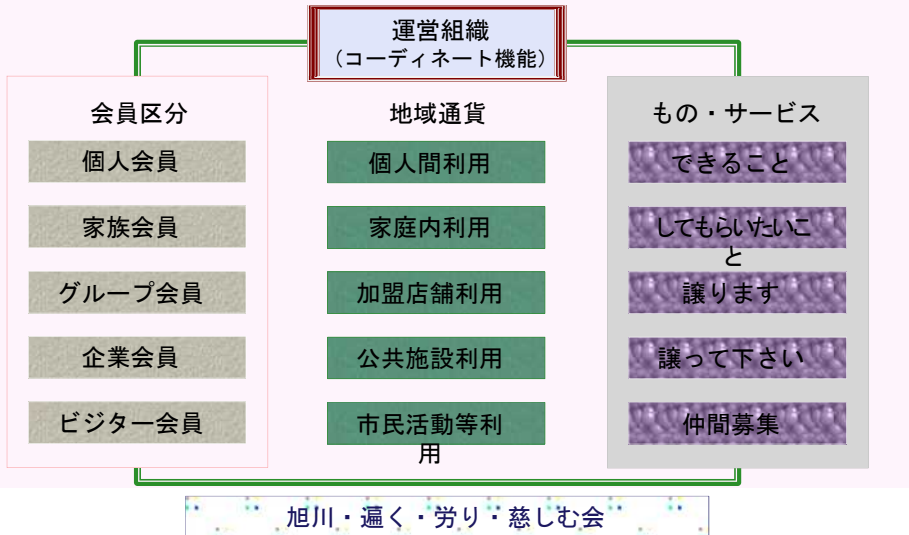
ユウ、ユウユウ:優、遊、友、結、悠

旭川・遍く・労り・慈しむ会



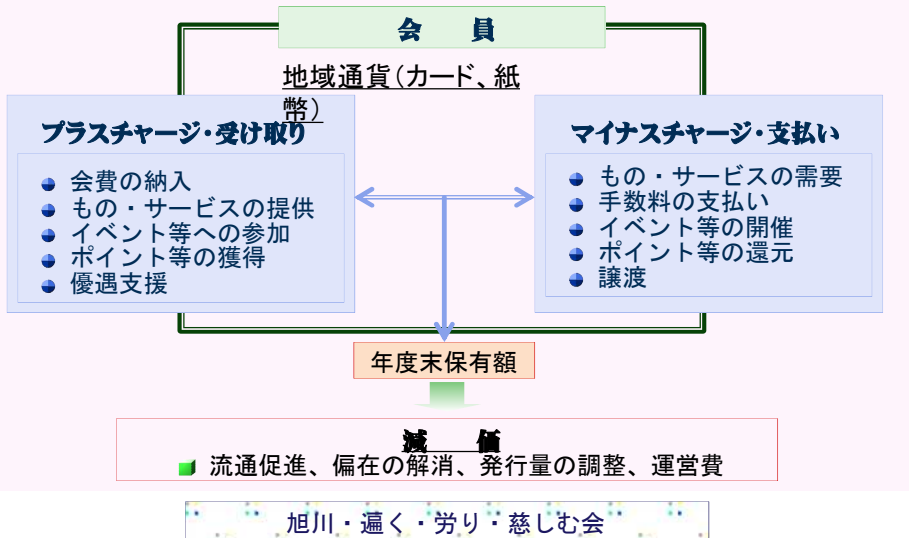
V 地域通貨の発行
2 地域通貨の流通と減価 (1)

地域通貨の流通



V 地域通貨の発行
2 地域通貨の流通と減価 (2)

地域通貨の減価





VI 地域通貨の運用
1 “もの・サービス”メニューの開示（1）

もの・サービスメニューの例

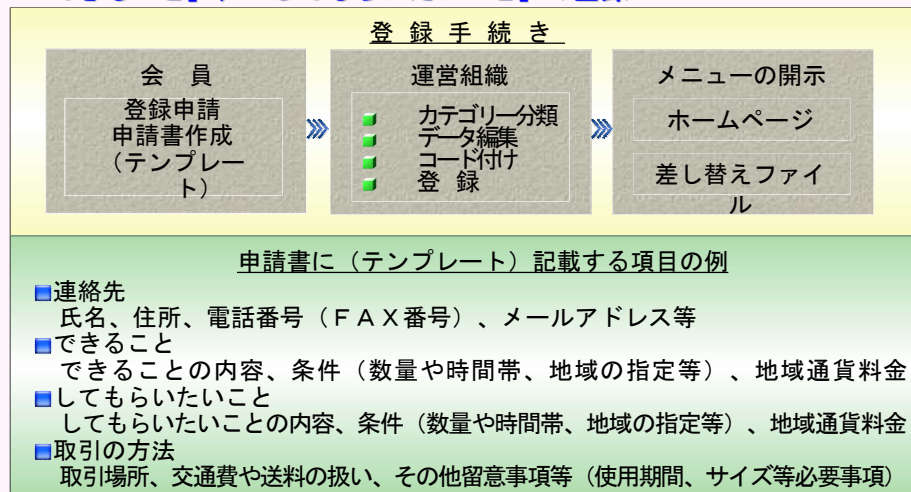
「できる」こと	会 員	「してもらいたい」こと
ホームヘルパー、農作業支援、ボランティア、不用品の提供、地産地消、家庭教師、通訳	消 費 者 (家 庭)	食事の準備、料理指導、掃除、子育て支援、老人介護、除雪、庭の手入れ、貸し農園の提供
産直・直売所販売、貸し農園、観光農園、体験農業、農産加工品・木工品・山菜等の販売	農家・林家	農作業等支援、家畜ヘルパー、地産地消、宅配、情報化支援、山林管理（下草刈、間伐）支援
ポイントサービス、イベント開催、地域通貨特売デーの開催	地元商店街	残渣処理、環境美化、宅配、商店街のPR、空き店舗の活用
育児指導、造園作業、文化伝承、環境美化、ボランティア	お年寄り	買い物、食事の準備、散歩介助、介護、話し相手、除雪
買い物、家事手伝い、留守番	子 供	遊ぶ、運動、行楽、鑑賞・観戦
町内会・同好会・サークル活動	地 域	会場提供、会員参加、講師派遣

旭川・遍く・労り・慈しむ会



VI 地域通貨の運用
1 “もの・サービス”メニューの開示（2）

「できること」、「してもらいたいこと」の登録

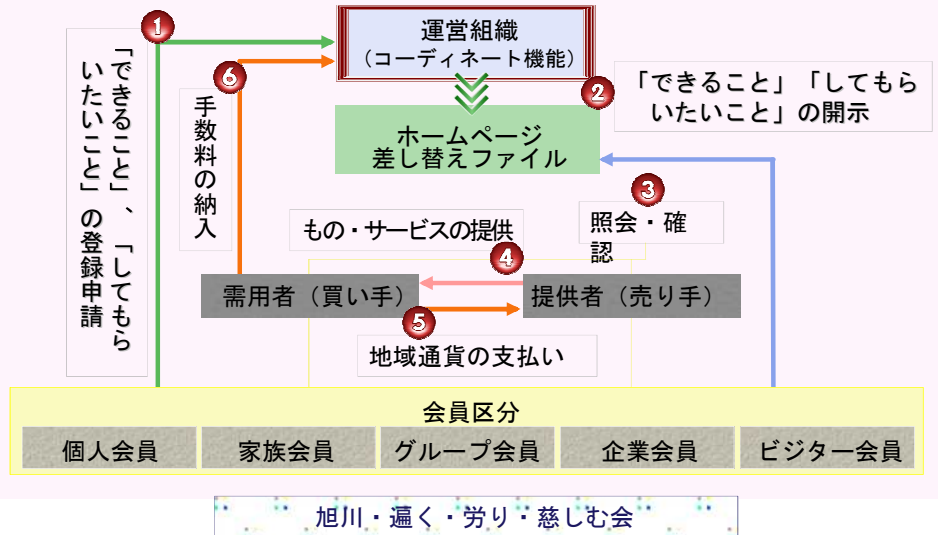


旭川・遍く・労り・慈しむ会



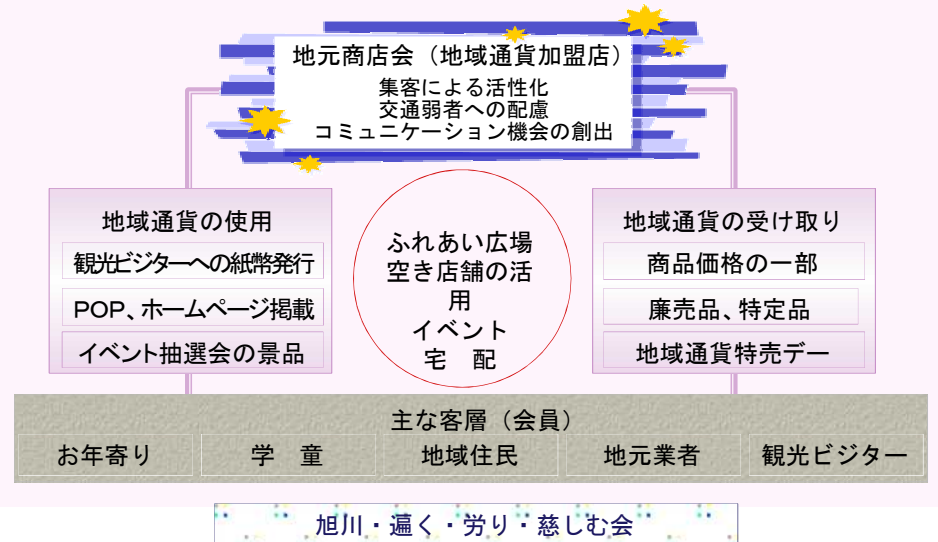
VI 地域通貨の運用
2 地域通貨の利用イメージ (1)

会員間における“もの・サービス”の取引



VI 地域通貨の運用
2 地域通貨の利用イメージ (2)

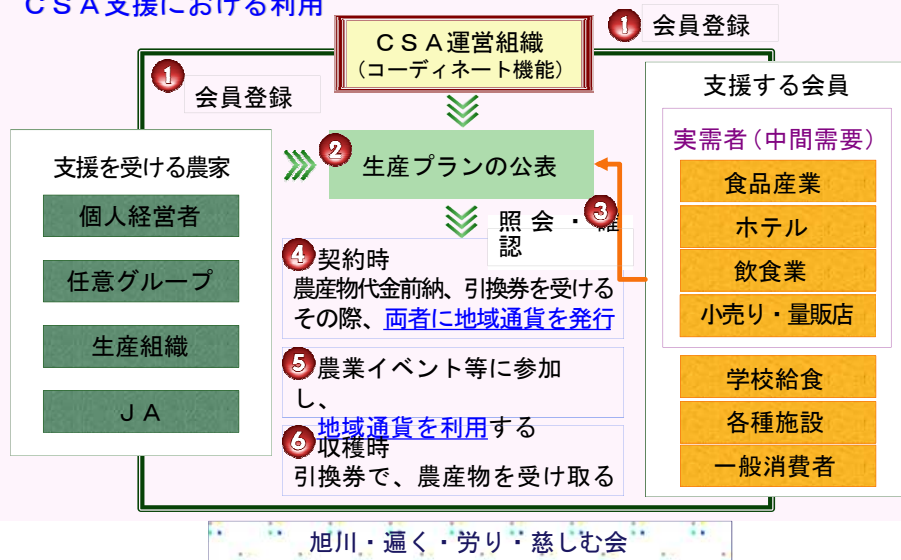
商店街における利用





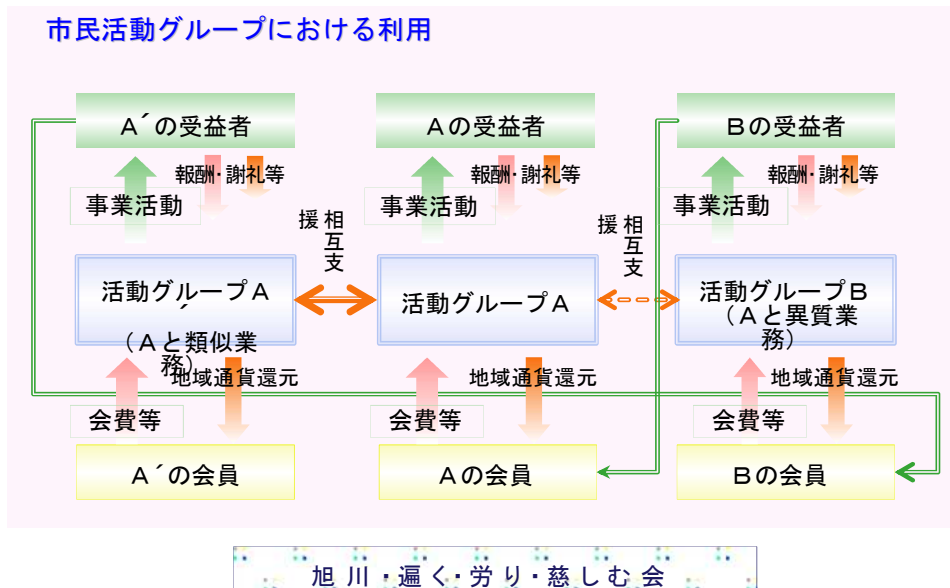
VI 地域通貨の運用 2 地域通貨の利用イメージ (3)

CSA支援における利用



VI 地域通貨の運用 2 地域通貨の利用イメージ (4)

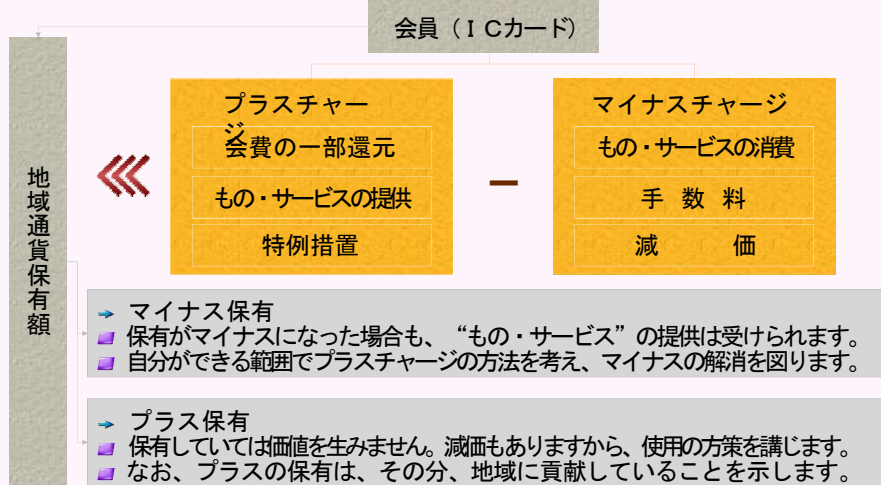
市民活動グループにおける利用





VI 地域通貨の運用
3 地域通貨の流通促進（1）

ICカード（住民基本台帳カード）の会員はマイナスでの利用が可能

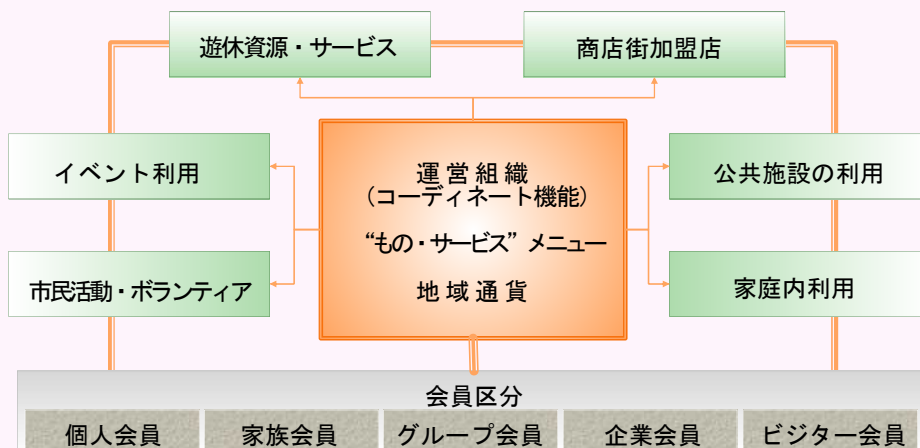


旭川・遍く・労り・慈しむ会



VI 地域通貨の運用
3 地域通貨の流通促進（2）

有用資源の活用+コミュニケーションの手段



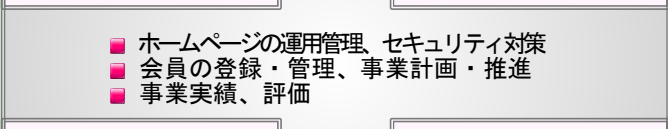
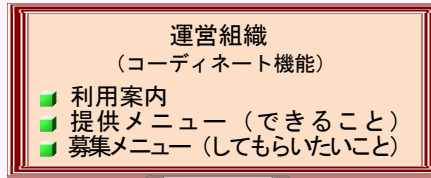
旭川・遍く・労り・慈しむ会



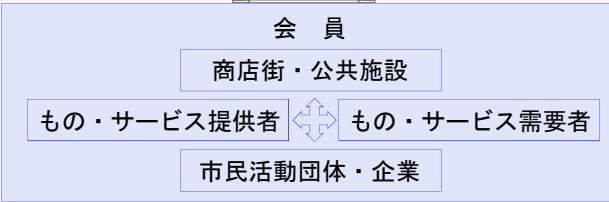
Ⅶ 地域通貨の管理
1 管理体制 (1)

運営組織

地域通貨の流通・管理



情報システムの運用・管理



旭川・遍く・労り・慈しむ会



Ⅶ 地域通貨の管理
1 管理体制 (2)

運営組織の形態

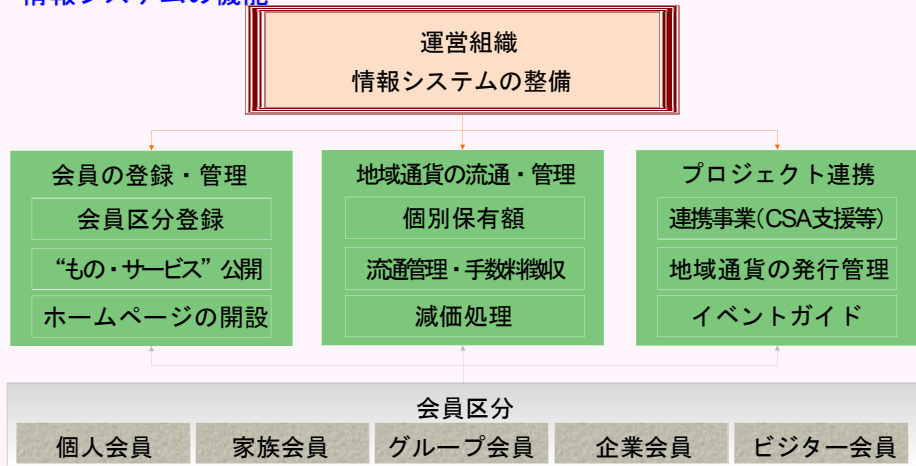
組織形態	方法	課題等
民間組織 (指定管理者制度)	民間、NPO法人などからコンペ方式による提案書の審査	★民の活力が期待される。 ★参入する機関があるかが問題
公的組織	市が民を加えた第三者機関を設置	★官と民の共同経営。 ★官の非効率、民の官依存体質から抜けきれぬかが問題
PFI事業者	PFI法に基づき民間事業者を選定	★民間の持つ資金力、経営能力、技術的能力を活用する。 ★この事業がPFI事業として適合するかが問題
NPO法人	市が市民活動グループを育成支援する	★企画力、資金力、事業運営ノウハウが伴うかが問題

旭川・遍く・労り・慈しむ会



Ⅶ 地域通貨の管理
2 情報システムの整備(1)

情報システムの機能

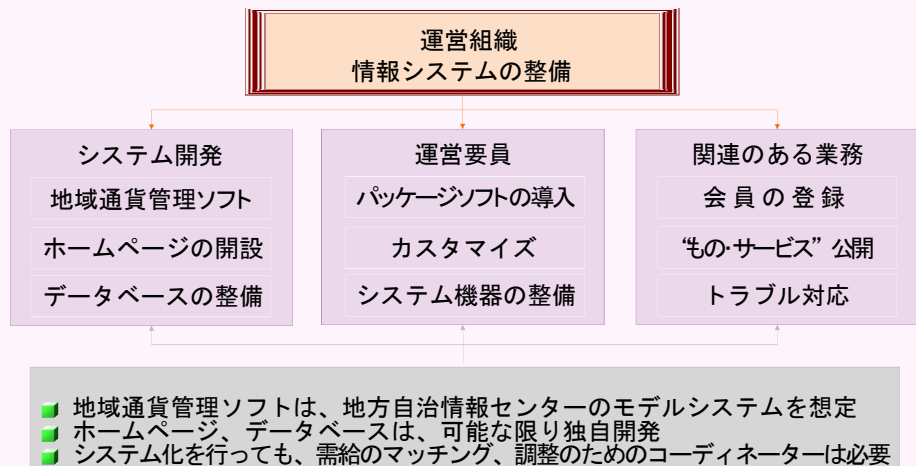


旭川・遍く・労り・慈しむ会



Ⅶ 地域通貨の管理
2 情報システムの整備(2)

システム開発とその維持・管理



旭川・遍く・労り・慈しむ会